

Question: 6



手術後すぐに離床をすると創が開いてしまうことはありませんか？

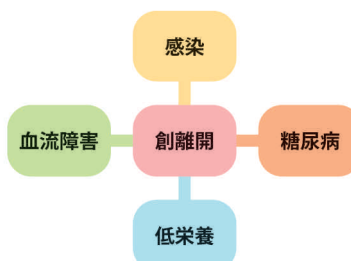
ベテランからの Answer



**無理な動作をしない限り、
離床によって術創部が離開することはありません。**

解説

手術後の離床時は、縫合した部分が開いてしまうのではと、患者さんは怖さもあるかもしれません。しかし、創を左右に離開するストレスをかけることや、過度にねじるような無理な動作をしない限り、創が離開することはありません。既に1940年代に、このことは証明¹⁸⁾されています。創部離開は、離床というよりも、ハイリスクな患者さんの全身状態(栄養状態・糖尿病の有無・長期のステロイド剤使用)や、局所・手術縫合部位の血流障害や創部感染によって生じるので、離床前に必ずチェックしましょう。



臨床でこう動く！

創にストレスのかからない 動作方法

創がある患者さんは、初回離床で痛みを出すと、その後の離床がうまく進まないことがあります。逆に、一番不安な術後初めての離床で、思ったより痛みが少ないと、患者さんとの信頼関係を築くことができます。腹部に創がある場合は、腹筋を収縮させないように、うつ伏せ気味になり腕の力で起き上がる方法(図上)や、ヘッドアップ経路で臀部を回すように離床する方法(図下)が有用です。

痛みがあるときの起き上がり方

→ 離床完全マニュアル 2 P.181



寝返りをしてうつ伏せに近い状態になる



腕の力で起き上がる



まめ知識

難治性の場合に有用な陰圧閉鎖療法

創離開があり難治性の創の場合、近年では陰圧閉鎖療法 (NPWT: Negative Pressure Wound Therapy) が行われることがあります。NPWTは、外科術後の難治創や難治性潰瘍・褥瘡が適応で、糖尿病性足潰瘍に対するNPWTの効果を検討した研究では、従来のドレッシングのみの治療に比べて、肉芽形成時間が有意に短かったと報告¹⁹⁾されています。